

急拡大する半導体分野向け自動倉庫関連部品

— ユキワ精工ユーザー訪問 — 恒川工場長に聞く

「昨夏から受注、1年も経たない段階で社内シェア3割~4割に」

ドリル、エンドミル、リーマなど
工具種に関係なく、スーパーG1
チャック1本で対応可も魅力

ねじに関連するブローカー的な立ち位置で、1979年に、現在の恒川会長が恒川商會を創業した。

「仕事を請けて、周辺の町工場に仕事を外注して、生計を立てる生活が30年近く続いたと思う。だが時が移り行くなかで、高齢化などを理由に工場を廃業されていくケースが増えていき、我々兄弟の人社をきかけとして、ブローカー的な立場から、ものづくり志向する会社へと転換していった」と恒川工場長は語る。

長男の恒川社長は2007年、次男の恒川工場長は2009年にそれぞれ入社した。

「社長である兄は、滝澤鉄工所で研修を積んで営業と旋盤加工はブラザー工業で講習を受け、マシニングセンに社長である兄は、おおよそ30社で、ほとんどが愛知県内の企業。仕事内容は、ドーナツ（ハンドル）を構成する部品や自動車の溶接関連部品、センサーの部品など、急拡大してきた半導体分野向けの自動倉庫関連の部品加工にあつた。

「急拡大する自動倉庫関連の部品加工にあつた。」



スーパーG1チャックを手にする恒川工場長

ブラザー工業製スピーディオ2台導入と同時にスーパーG1チャック20本購入

ブローカー的立場からものづくり企業へ 「脱皮」した恒川商會(名古屋市巾着区)

『評価のポイントは
『振れのなさ』。
半日かかっていた
段取りが1時間に』

「スーパーG1チャックは当社では、高精度と時間短縮でメリットを発揮してくれている。ユキワ精工さんには、今後、望むとすれば、ミクロン台での仕事となるので、ホコリも少なくなり除去しやすい。短時間で効果の出るアイテムがあれば、ありがたい」との要望が挙がった。

半導体にも、まさに「旬」の受注内容と言えようか。アイテム数は限定されているが、部品点数で見れば月に数千点に上るそう。

スーパーG1チャックとの出会いは2015年ごろに遡る。

「あるリーマ加工で、5ミクロンの精度は出ると思っていた某社のツリーングで、狙っていた穴サイズ精度が出ない。締め方も影響するのだから、人によるバラツキも見られた。インターネットで調べて、スーパーG1チャックの詳細を確認し、取引商社の方を通じて購入したのが、そもそもの発端で、精度はもともと人によるバラツキも解消され、他社からスーパーG1チャックにリプレースした経緯があつた。

「振れの調整の手間が省け、従来、段取り時間が半日かかっていたのが、1時間で済む」ばかりか「ドリル、エンドミル、リーマといった工具種に関係なく、スーパーG1チャック1本で済むメリットも大きい。しかもミクロン台での精度が出せる。」

「工具種ごとに指示を出していた時間の節約にも繋がると言う。

高精度ツリーングシステム スーパーG1チャック



精度をとことん
突き詰めると、
コレット式に迫り着く



ユキワだけ精度を 保証！ しています。



ユキワ精工株式会社



スーパーG1チャック 検索
<http://www.yukiwa.co.jp/>

本社・工場 / 〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112
営業所 / 東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.